表で定める床面積（多信号感知器にあつては、その有する種別に応じて定める床面積のうち最も大きい床面積。第四号の三及び第七号において同じ。）につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。

取付け面の高さ	感知器の種別					
	差動式スポット型		補償式スポット型		定温式スポット型	
	一種	二種	一種	二種	特種	一種	二種
四メートル未満	特定主要構造部を耐火構造とした防火対象物又はその部分	九十平方メートル	七十平方メートル	九十平方メートル	七十平方メートル	七十平方メートル	六十平方メートル	二十平方メートル
	その他の構造の防火対象物又はその部分	五十平方メートル	四十平方メートル	五十平方メートル	四十平方メートル	四十平方メートル	三十平方メートル	十五平方メートル
四メートル以上八メートル未満	特定主要構造部を耐火構造とした防火対象物又はその部分	四十五平方メートル	三十五平方メートル	四十五平方メートル	三十五平方メートル	三十五平方メートル	三十平方メートル	
	その他の構造の防火対象物又はその部分	三十平方メートル	二十五平方メートル	三十平方メートル	二十五平方メートル	二十五平方メートル	十五平方メートル	

四　差動式分布型感知器（空気管式のもの）は、次に定めるところによること。

［イ・ロ　略］

ハ　感知器は、感知区域の取付け面の各辺から一・五メートル以内の位置に設け、かつ、相対する感知器の相互間隔が、特定主要構造部を耐火構造とした防火対象物又はその部分にあつては九メートル以下、その他の構造の防火対象物又はその部分にあつては六メートル以下となるように設けること。ただし、感知区域の規模又は形状により有効に火災の発生を感知することができるときは、この限りでない。

［ニ・ホ　略］

四の二　差動式分布型感知器（熱電対式のもの）は、次に定めるところによること。

［イ　略］

表で定める床面積（多信号感知器にあつては、その有する種別に応じて定める床面積のうち最も大きい床面積。第四号の三及び第七号において同じ。）につき一個以上の個数を、火災を有効に感知するように設けること。

取付け面の高さ	感知器の種別					
	差動式スポット型		補償式スポット型		定温式スポット型	
	一種	二種	一種	二種	特種	一種	二種
四メートル未満	主要構造部を耐火構造とした防火対象物又はその部分	九十平方メートル	七十平方メートル	九十平方メートル	七十平方メートル	七十平方メートル	六十平方メートル	二十平方メートル
	その他の構造の防火対象物又はその部分	五十平方メートル	四十平方メートル	五十平方メートル	四十平方メートル	四十平方メートル	三十平方メートル	十五平方メートル
四メートル以上八メートル未満	主要構造部を耐火構造とした防火対象物又はその部分	四十五平方メートル	三十五平方メートル	四十五平方メートル	三十五平方メートル	三十五平方メートル	三十平方メートル	
	その他の構造の防火対象物又はその部分	三十平方メートル	二十五平方メートル	三十平方メートル	二十五平方メートル	二十五平方メートル	十五平方メートル	

四　［同上］

［イ・ロ　同上］

ハ　感知器は、感知区域の取付け面の各辺から一・五メートル以内の位置に設け、かつ、相対する感知器の相互間隔が、主要構造部を耐火構造とした防火対象物又はその部分にあつては九メートル以下、その他の構造の防火対象物又はその部分にあつては六メートル以下となるように設けること。ただし、感知区域の規模又は形状により有効に火災の発生を感知することができるときは、この限りでない。

［ニ・ホ　同上］

四の二　［同上］

［イ　同上］